

学生ジョブコーチ参加要領

2006. 4. 11

目的と趣旨：学生ジョブコーチとは、2004年度から始まった養護学校（特に京都市鳴滝総合養護学校：歌野）の生徒さんが職場実習に行く際、事前に仕事内容を確認し（業務分析）、実際の実習場面に付き添って仕事を覚えやすいようお手伝いしたり（教授作業）、必要な職場環境の変更を提案する（援護作業）を通じて、「対人援助」を過不足なく行うための必要機能を実践的に体験する作業です。

この学生ジョブコーチの実践的研究は、人間科学研究所の「オープンリサーチセンター事業」のひとつのプロジェクト（代表：望月昭）でもありますが、大学院の特定クラスターや学部ゼミの所属は、参加の条件ではありません。

日 程：学校心理士に関わる実務経験のうち、学生ジョブコーチ実習に関しては、学校ボランティアに行く決まった曜日というのは、ありません。対象の生徒や実習先などのスケジュールに依存します。（事前の調整を行います）

養護学校生を受け入れてくれる職場の関係もあり、計画的に1年で所要の実習時間を満たすとは限りません。参加の形態によって増減があります。

実習内容：養護学校の生徒さんが行く実習先（職場）が決まった時点で、その職場（立命生協、民間企業等）に集中的に（1週間から2週間程度）入り上記の作業を行うことが実務経験になります。

具体的作業内容としては、

- 1) 養護学校で打ち合わせを行う
- 2) 養護学校の生徒さんが行く予定の職場へ事前のアセスメント（業務分析）に行く
- 3) 職場で援助（教授）を行う
- 4) 上記の作業を記録し報告する

が基本的なものです。

★ 学生ジョブコーチの活動に参加するには、学校ボランティアの登録をする必要があります。

★ 「学校心理士の資格は必要ないが、学生ジョブコーチの活動に参加したい人」も、学校ボランティアの登録を行ってください。

★ 学校ボランティアの登録をただけでは、学生ジョブコーチの活動には参加できません。

★ 学生ジョブコーチを実際に行うためには、以下のような手順・トレーニングを受ける必要があります。

- ① 金曜日午後（13：00-）に、創思館3Fの314室で行われる学生ジョブコーチ研究会で、前記した実習内容に必要な技術と記録方法などを獲得する（実習時間に換算可能）。
- ② 事前に養護学校に授業見学に行き、養護学校の先生と面接する。
- ③ 前記した4)を①の研究会で発表し、望月教授や先輩のスーパービジョンを受ける。

以 上